

平成21年2月24日

寒剤配送サービスの試行についてのお知らせ

低温物質科学研究センター長 前川 覚

吉田キャンパスにおいて、当センターより供給を受けて寒剤(液体窒素、液体ヘリウム)を利用されている皆様方の元へ、寒剤を充填した容器を専用車両により配送するサービスの試行を開始しました。このサービスによる寒剤供給・配送の大まかな流れは次のようなものとなります。

- (1) 建物ごとに定める受け渡し場所(出入口近辺の搬出入の簡便な場所)からの空容器の回収。
- (2) センター職員が寒剤の充填を行う。
- (3) 充填した容器を上記受け渡し場所に配送。

このサービスを利用していただきますと、専門知識を持った者が専用車両により寒剤の輸送を行うことにより、路上搬送中の転倒や容器の損傷に伴う事故とそれにとまなう教職員、学生あるいは一般人への身体的危険の可能性を大幅に低減することができます。また個々の利用者としても重量のある容器を搬送してセンターとの間を往復する時間・労力、および充填に要する時間・労力を節約することができます。なお、京都大学環境安全保健機構により、専用車両を用いた配送により寒剤搬送中の事故を未然に防ぐことが望ましいとされておりますので、片手で持ち運べる程度の小型容器の屋外搬送ならびに建物内での搬送を除いては、なるべくセンターによる配送をご利用いただきたいと考えております。ただし、研究上の事情等で利用者の責任において容器を自前で搬出し寒剤を充填することは、従来通り行っていただいても構いません。

また、今年度中は試行期間とし、このサービスのために必要な経費はセンター負担として、皆様方の負担増なしにテストをさせていただきます。安全かつ安定な運用方式確立のため、御協力を賜りますようお願い申し上げます。運用方式等につきましてお気づきの点がありましたら、随時下記担当者までお申し出ください。なお、次年度からの経費負担計画につきましては、吉田地区管理運営委員会にて審議中ですので、改めてお知らせ致します。

配送サービスの運用方式についてのお問い合わせ先：低温物質科学研究センター 佐々木豊

(tel/fax: 753-3755, email: sasaki@scphys.kyoto-u.ac.jp)

配送／供給スケジュール

○一週間のサイクル(ABC 地域ブロック毎のスケジュール)

A: 北部構内(理学、農学、生命、RI、エネ科、フィールドなど)(月火水木金)

B: 本部、吉田南構内(低温、工学、エネ科、人・環、iCeMS、博物館、診療所など)(月水金)

C: 医学部、病院、病院西構内(医学、生命、RI、ウィルス研、再生医科学研など)(火木)

* 事前申し込みにより、下記の受け渡し場所まで配送車両が伺います。時刻は目安とお考えください。

配送担当者横山が携帯電話 090-5128-6769 より到着前に連絡を入れさせていただきます。

○一日の時間配分

(ア)9:15-10:00		前日供給分寒剤配達と空容器の回収(BまたはC)
月水金	B	9:30 人環研究棟 吉田南総合館南西入口 保健診療所、博物館、環境保全センター
		9:45 総合研究5号館 構造生理学棟、工学 RI 研究実験棟、工学2号館南玄関 工学物理系校舎西玄関、工学部総合校舎北入口 理学物理化学別館、総合研究1号館
火	C	9:15 ウィルス研究所(回収:ほぼ満杯につき混載困難)
木	C	9:30 医学 B 棟西側スロープ 医学 C 棟東玄関、RI センター西玄関 医学 G 棟東玄関
		9:45 旧産婦人科病舎玄関 再生医科学研究所西館東入口、東館西入口
(イ)10:00-10:30		前日供給分寒剤配達と空容器の回収(A)
		RI センター分館、ダークマター実験棟
		10:05 農学北西地下入口 理学6号館北東入口、理学2号館東玄関
		10:10 理学1号館西玄関
		10:15 農学南東入口 農学北東入口
		10:20 農生棟入口、農学北入口 農学2号館南入口、理学5号館南西玄関
(ウ)11:00-12:00		スケジュール外配達と回収(ABCすべて)

<昼休み>

(エ) 13:00-13:30		当日供給分寒剤配達と空容器の回収(A)
		RI センター分館、ダークマター実験棟
	13:05	農学北西地下入口 理学6号館北東入口、理学2号館東玄関
	13:10	理学1号館西玄関
	13:15	農学南東入口 農学北東入口
	13:20	農生棟入口 農学2号館南入口、理学5号館南西玄関
(オ) 13:45-14:30		当日供給分寒剤配達と空容器の回収(BまたはC)
月水金	B	14:00 人環研究棟 吉田南総合館南西入口 保健診療所、博物館、環境保全センター
		14:15 総合研究5号館 構造生理学棟、工学 RI 研究実験棟、工学2号館南玄関 工学物理系校舎西玄関、工学部総合校舎北入口 理学物理化学別館、総合研究1号館
火	C	14:15 ウィルス研究所(配達:ほぼ満杯につき混載困難)
		14:30 旧産婦人科病舎玄関(回収) 再生医科学研究所西館東入口、東館西入口
木	C	14:00 医学 B 棟西側スロープ 医学 C 棟東玄関、RI センター西玄関 医学 G 棟東玄関
		14:15 旧産婦人科病舎玄関 再生医科学研究所西館東入口、東館西入口
(カ) 15:00-16:00		スケジュール外配達と回収(ABCすべて)

○配送申し込み、制限事項

液体ヘリウム容器配送については、前営業日16時までの供給申し込み時に、容器毎の配送希望を delivery@lt1.ltm.kyoto-u.ac.jp まで所定のフォーマットに従い必要事項を記入したメールで申し込んで下さい。集配直前に配送担当者から電話連絡を受けることのできる番号(携帯可)を指定して下さい。集配時刻はブロック毎に定められた曜日時間帯を原則としますが、可能な限り全ての曜日のスケジュール外時間帯の配送も受け付けます。配送当日になってからの変更等のご要望は、各スケジュール(ア)-(カ)開始時刻までに配送担当者横山(電話番号:090-5128-6769)まで連絡してください。

液体窒素容器配送については、前営業日16時までに delivery@lt1.ltm.kyoto-u.ac.jp まで所定のフォーマットに従い必要事項を記入したメールで申し込んで下さい。集配直前に配送担当者から電話連絡を受けることのできる番号(携帯可)を指定して下さい。集配時刻はブロック毎に定められた曜日時間帯を原則としますが、可能な限り全ての曜日のスケジュール外時間帯の配送も受け付けます。集配時に受け渡し場所に持ち込んだ他の容器の配送をその場で追加受け付けすることも可能です。配送当日の追加変更等の申し込みは、各スケジュール(ア)-(カ)開始時刻までに配送担当者横山(電話番号:090-5128-6769)まで連絡してください。

尚、建物内部の個別実験室への集配は、配送担当者1名のみでは安全が確保出来ませんのでお引き受けできません。また、保存試料などの入った液体窒素容器は事故防止のため扱わないこととします。

申し込みのフォーマット

配送日付:

受け渡し時刻:

容器名:

輸送内容:容器回収/寒剤配達(どちらかを消去)

受け渡し場所:

所属:

電話:

担当者:

申し込みの記入例(メール本文にご記入ください)

容器名は He 容器は登録名称をそのままご記入ください。窒素容器も初回はサイズがわかるような名前をご記入ください。多数の場合は窒素容器 10L5台などとまとめて記入していただいても結構です。

配送日付:2009/02/16

受け渡し時刻:14:15

容器名:teion2-100

輸送内容:寒剤配達

受け渡し場所:総合研究 5 号館

所属:低温物質科学研究センター 低温物理学研究室

電話:075-753-3755

担当者:佐々木豊

配送日付:2009/02/16

受け渡し時刻:14:15

容器名:teion1-100N

輸送内容:容器回収

受け渡し場所:総合研究 5 号館

所属:低温物質科学研究センター 低温物理学研究室

電話:075-753-3755

担当者:佐々木豊

○窒素容器の登録

液体窒素容器に職員が寒剤を充填し、間違いなく配送するためには、個々の容器に所属などの情報を表示しておく必要があります。初回の供給申し込み時、あるいは新しい容器の使用を開始するときには容器に液体窒素供給システム用カードを添えてお渡しください。容器名などを記入したシールをセンターで貼付けさせていただきますのでご容赦ください。

配送申込先:低温物質科学研究センター配送担当者(横山)

(email:delivery@tl1.ltm.kyoto-u.ac.jp, tel: 090-5128-6769)

配送サービスの運用方式についてのお問い合わせ先: 低温物質科学研究センター 佐々木豊

(tel/fax: 753-3755, email: sasaki@scphys.kyoto-u.ac.jp)